

2017年上期 アルバイト・パート募集時平均時給調査レポート

■ 調査概要

本レポートは、月次で発表している「アルバイト・パート募集時平均時給調査」について2017年4月～2017年9月の調査結果をまとめたレポートです。
当社が企画運営する求人メディア『TOWNWORK』『TOWNWORK社員』『fromA navi』に掲載された求人情報より、アルバイト・パートの募集時平均時給を集計しています。

<集計対象媒体について>

『TOWNWORK』 : 「家の近くで働きたい」「学校の近くで働きたい」など勤務地を重視する読者へ向けた無料の仕事情報誌。全国で展開。

『TOWNWORK社員』 : 「地元で社員になりたい」など勤務地と雇用形態を重視する読者へ向けた無料の仕事情報誌。全国で展開。

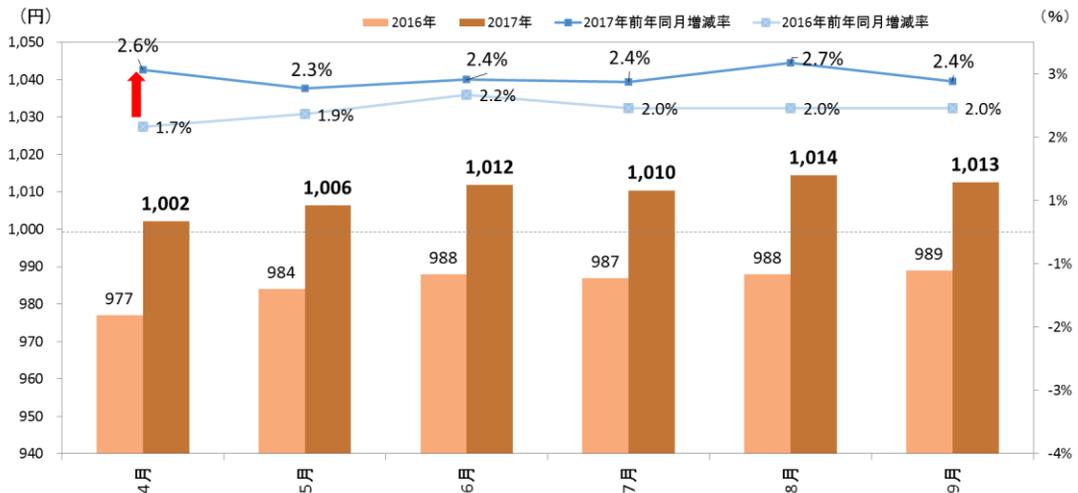
『fromA navi』 : アルバイト・仕事探しの総合求人情報サイト。関東、関西、東海エリアを中心に、北海道・東北、北陸・甲信越、中国・四国、九州・沖縄、リゾートの全8版を展開。

■ 目次

1. 調査概要・目次
2. 平均時給推移 <全職種>
3. 職種別 前年増減率の推移
4. 職種別 平均時給推移 <事務系> <フード系> <販売サービス系> <製造・物流・清掃系>

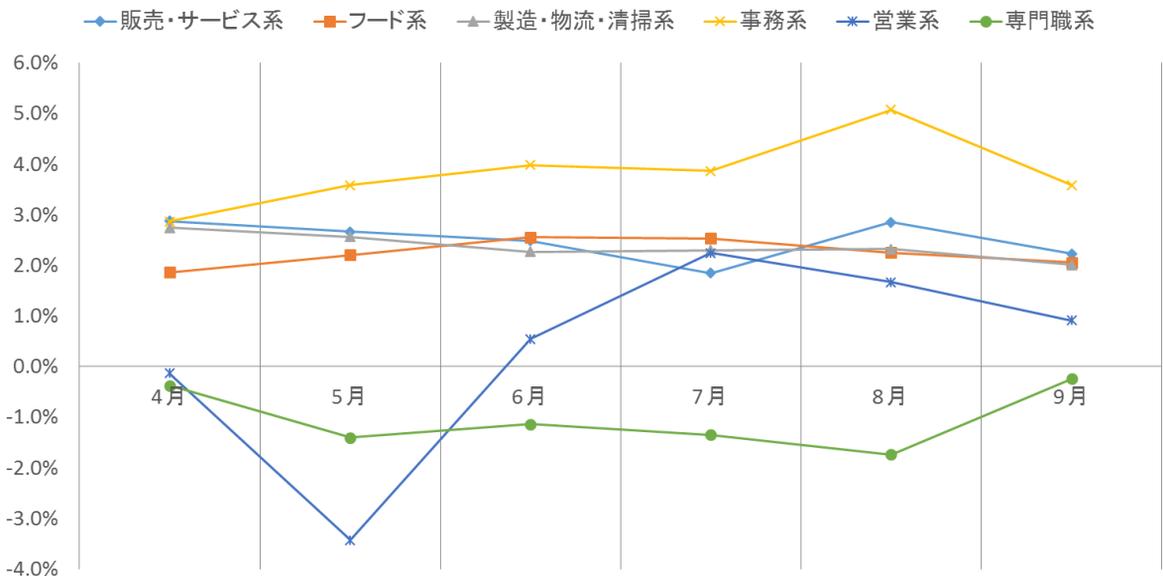
平均時給推移 <全職種>

三大都市圏における職種全体の時給推移は以下の通りです。慢性的な人手不足の影響を受け、引き続き時給は上昇傾向にあります。また、2016年4-9月の時給前年同月増減率が+2.0%前後で推移しているのに対して、2017年は+2.5%前後で推移をしており、昨年にも増して時給上昇の動きがみられることがわかります。



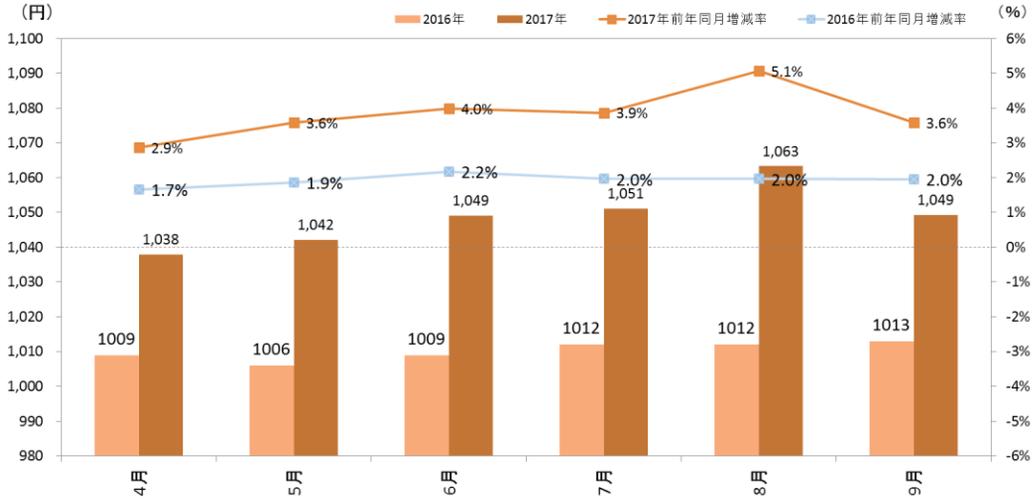
職種別 前年増減率の推移

三大都市圏、各職種の前年同月増減率推移は以下になります。特に2017年4~9月においては、「事務系」が高い増減率であることがわかります。続いて、「販売・サービス系」「フード系」「製造・物流・清掃系」が約+2~3%の幅で推移していることがわかります。次項以降で上記各職種について、もう一段細かい職種分類にて推移を見ていきます。



職種別 平均時給推移 <事務系>

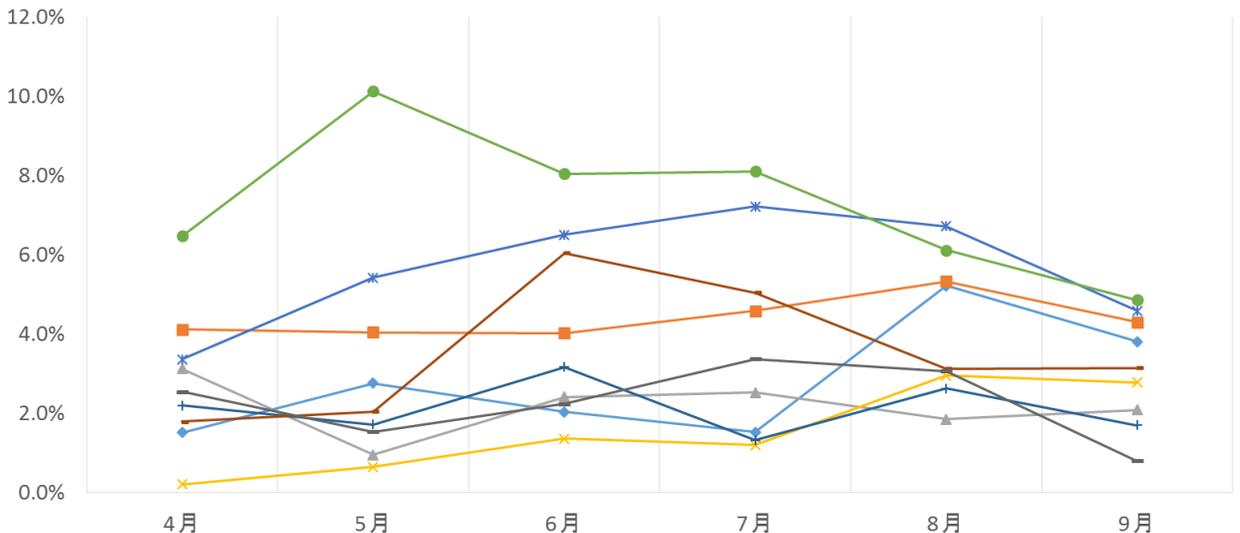
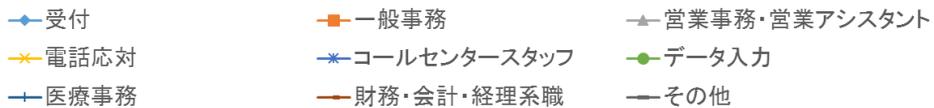
「事務系」職種は2016年は+2.0%前後の前年同月増減率だったのに対し、2017年は3.0%を超える前年同月増減率で推移していることがわかります。8月においては+5.1%と非常に高い伸び率となっています。



トピック

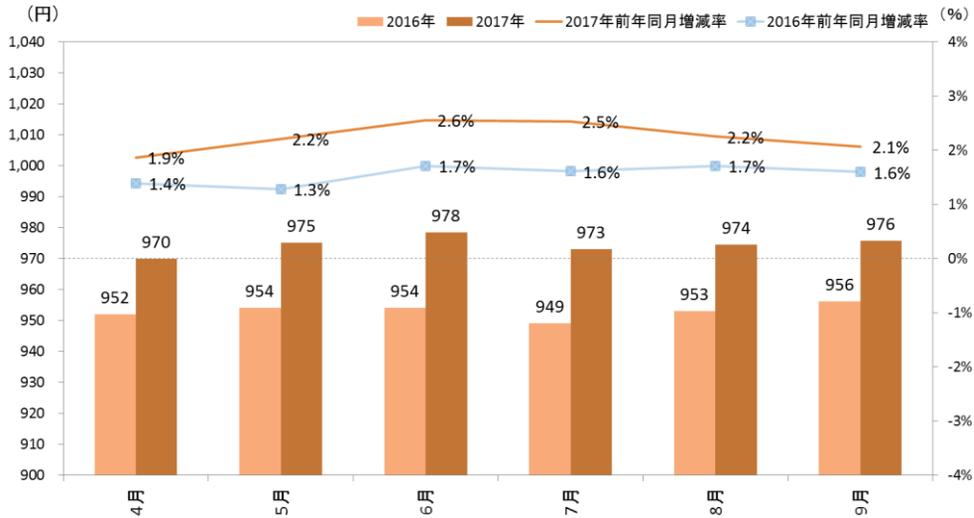
「事務系」を小職種ごとに見たグラフが下記図になります。増減率が高いのは、「データ入力」「コールセンタースタッフ」であることがわかります。コールセンタースタッフの時給上昇の要因としては、知識が必要とされる対応のニーズの高まりに加え、スマートフォンの新機種発売、衆議院選挙など時事に影響して一時的にニーズが高まったことが考えられます。

また次いで「一般事務」についても高い前年同月増減率となっております。時給上昇の要因としては「一般事務」の業務範囲は広範に及んでおり、上記のようなニーズの高い業務も含む募集が比較的高時給で掲載されていることが要因と推測されます。



職種別 平均時給推移 <フード系>

「フード系」職種については前年同月増減率が約+2~2.5%程度で推移し、先期と比較し約+0.5%~1.0%高く推移していることがわかります。

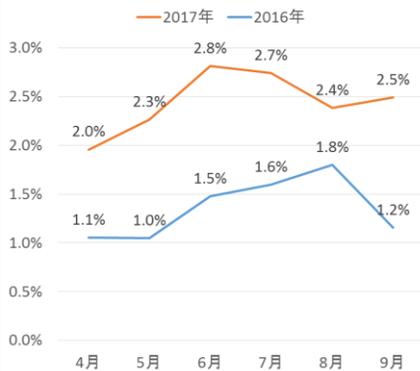


トピック

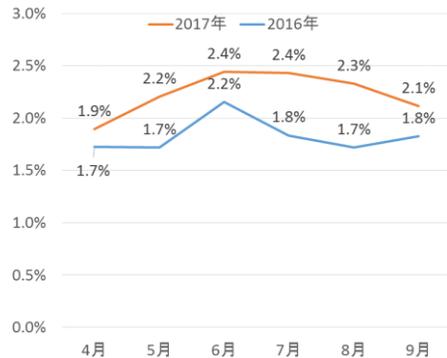
「ホールスタッフ（飲食店）」、「調理・コック・板前（見習含）」において有効求人倍率の高まりからもわかるように昨年より一層の人手不足感が高まっており、これを受けて一段高い時給上昇が起こっています。相対的に時給が低い職種群のため大幅な最低賃金改定を見越しての時給上昇が行われていることも想定されます。

■ 前年同月増減率推移

(1) 「ホールスタッフ（飲食店）」



(2) 「調理・コック・板前（見習含）」

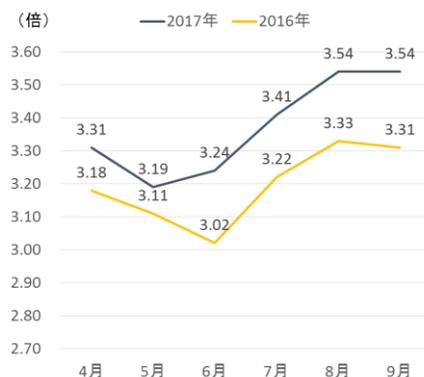


■ 参考：有効求人倍率（常用的パート）※

(1) 接客・給仕の職業

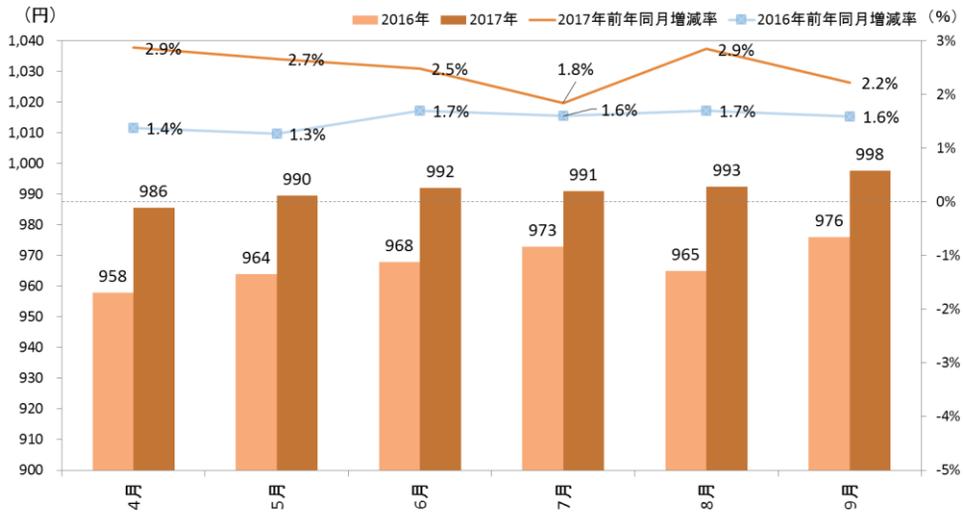


(2) 飲食物調理の職業



職種別 平均時給推移 <販売・サービス系>

「販売・サービス系」職種については前年同月増減率が+2~3%前後で推移しており、先期と比較し約+1.0%~1.5%高く推移していることがわかります。

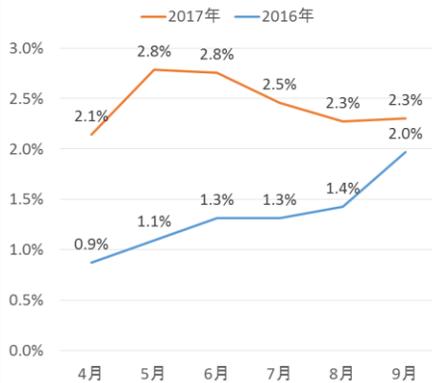


トピック

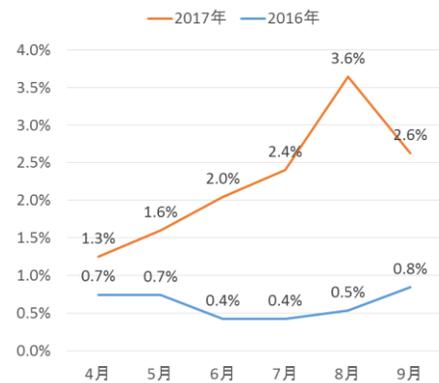
フード系職種同様「レジ」「販売」「コンビニエンスストア」において昨年より一段高い時給上昇が起こっていることがわかります。基本的に時給体が低い職種群のため高い最低賃金改定を見越しての時給上昇が行われていることが想定されます。また、例年販売職種の繁忙期は年末のため通常だと9~11月中が採用繁忙となりますが、年々求人案件の増加を受け、採用活動の前倒し起きており、それに伴い募集時給の上昇も見られると想定されます。

■ 前年同月増減率推移

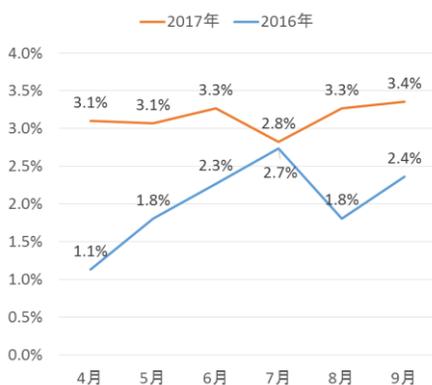
(1) 「レジ」



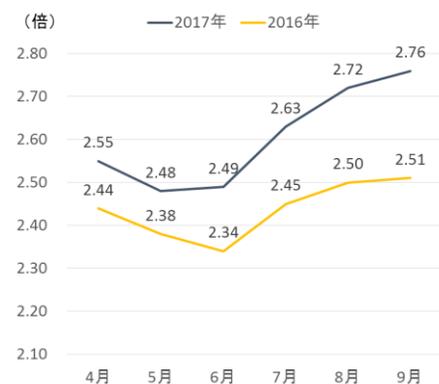
(2) 「販売」



(3) 「コンビニエンスストア」

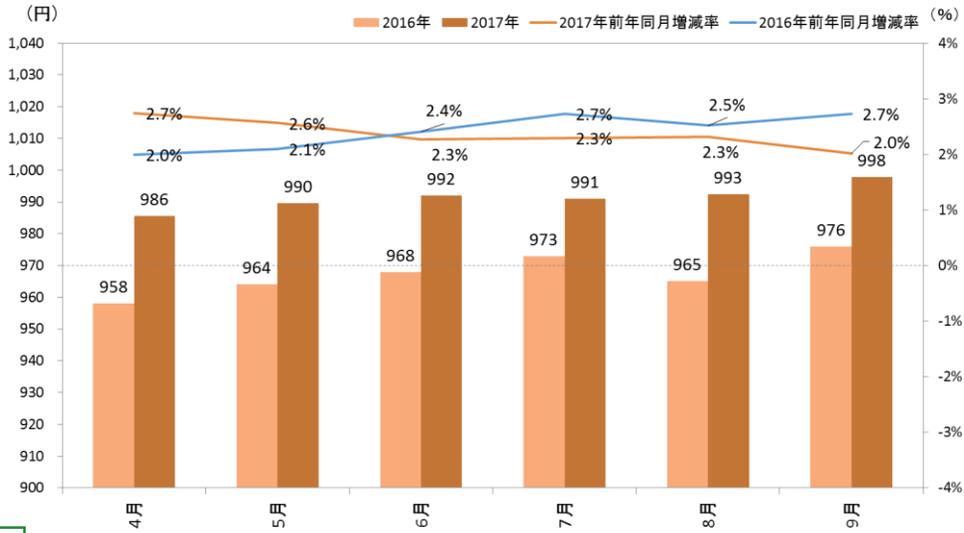


■ 参考：有効求人倍率（常用的パート）※ 販売の職業



職種別 平均時給推移 <製造・物流・清掃系>

「製造・物流・清掃系」職種については時給は上昇傾向にあります。前年同月増減率について2017年は先期と比較し約±0.7%程度で推移しており、「フード系」「販売・サービス系」職種ほど先期比較での前年同月増減率の上昇は見られません。

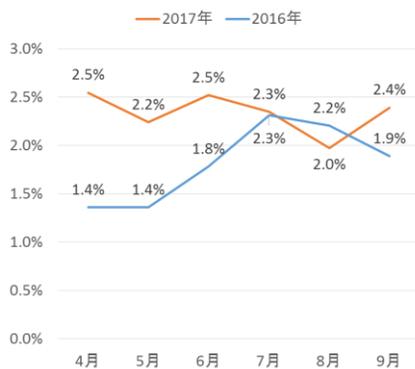


トピック

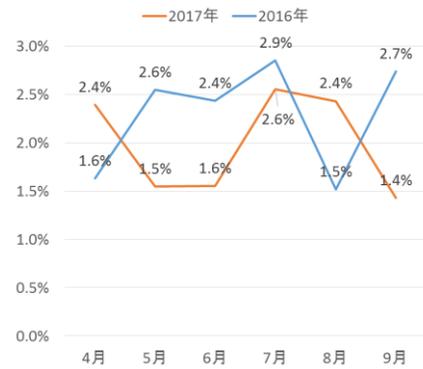
「物流作業」については先期と比較し一段高い前年同月増減率で推移、「ドライバー・配送・デリバリー」については先期と比較し若干伸び率が低減していると言えます。

■ 前年同月増減率推移

(1) 「物流作業」



(2) 「ドライバー・配送・デリバリー」



■ 参考：有効求人倍率（常用的パート）※

(1) 運搬の職業



(2) 自動車運転の職業

